



ピカソやゴッホの絵えってすごいんだろ。そんな
有名ゆうめいな絵よりも、小さな子どもの絵のほうが
宝物たからものなんておかしいよ。



そんなことないと思おもうわよ。



どうしてそう思おもうのさ。



先週せんしゅうの日曜日、パパと美術館びじゅつかんに行ったのよ。
いろいろな絵があったわ。
わたしが好きな絵があまりなかったから、1枚
の絵さを指して、「この絵ってどこがすばらしい
の？」って聞いたのよ。
そしたら、パパは「う～ん」ってうなって難むずかしい顔かほをしていたわ。



それがどうしたのさ。



つまり、有名だからすごいって思ってるけど、
ほんとはよく分かっていないことが多いって
ことだと思うのよ。



たしかにそれはあるわね。わたしも美術館に行
ったことあるけど、みんな難しい顔をしてい
たわ。何か無理にすばらしさを分かろうとして
いるような気がしたわ。



え 絵ってそんなものじゃないと思うわよね。もっ
と楽しいものじゃないかしら。



たしかにそうだね。感動すればその人にとって
はすごい絵だといえるけど、感動しなければそ
れはどこにでもあるふつうの絵と同じという
ことだろうね。



このお母さんにとっては、ピカソやゴッホの絵
よりも子どもの絵のほうが感動するってこと
なのよね。



何が大切たいせつなのかは、人それぞれってことなのか
な。もう少し考かんがえてみるよ。

※このステップでは、できるだけいろいろな意見を出し合うようにしています。いろいろな意見を読んで、自分はどう思うのか考えてみましょう。そうすることで、知らない間にテーマに対する考え方が身についてくるのです。

※お母さんやお父さんなどと、意見を出し合ってみるといっその力がつくはずです。会話することで、言葉や表現力も自然と身についてくるのです。

※実際のテキストでは、もっといろいろな意見を掲載しています。